

1 〈平安後期～鎌倉時代の政治〉 右の年表を見て、次の問いに答えなさい。(5点×10)

(1) [A], [B] にあてはまる人物の組み合わせを、次から1つ選びなさい。 []

- ア A - 源義家 B - 藤原純友
- イ A - 源義家 B - 藤原鎌足
- ウ A - 平将門 B - 藤原純友
- エ A - 平将門 B - 藤原鎌足

(2) [C] にあてはまる政治を答えなさい。 []

(3) Dの期間に起きた次のできごとを、古い順に並べなさい。 [→ →]

- ア 平治の乱
- イ 壇ノ浦の戦い
- ウ 保元の乱

(4) 資料1は、下線部aが始めた鎌倉幕府の仕組みを示している。次の文にあてはまる役職を、資料1中のア～カからそれぞれ選びなさい。 [① ②]

- ① 荘園や公領の管理、年貢の取り立てを行う。
- ② 幕府の財政に関する仕事を行う。

◆記述 (5) 下線部bと御家人は御恩と奉公の関係で結ばれていた。奉公とは何か。簡単に答えなさい。 []

(6) 下線部cについて、この一族は、代々将軍を補佐する役職に就き、資料1中の[X]として実権をにぎった。[X]にあてはまる語句を答えなさい。 []

(7) [E]にあてはまる人物を答えなさい。 []

(8) 下線部dについて、次の問いに答えなさい。

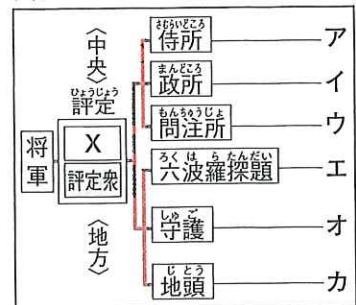
- ① 資料2を読み取って述べた文として誤っているものを、次から1つ選びなさい。 []
- ア 幕府は東日本の御家人に動員をかけた。
- イ 西日本には上皇に味方した国が多かった。
- ウ 幕府が御家人を動員した国では新たに地頭が任命された地はない。
- エ 乱後、上皇に味方した全ての国に新たに地頭が任命された。

② この乱の後に、朝廷の監視のため、資料2中のYに置かれた機関を、資料1中のア～カから1つ選びなさい。 []

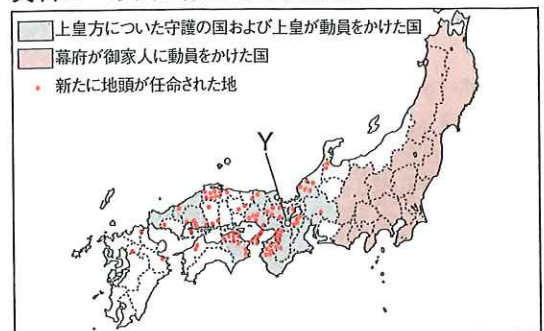
(9) [F]にあてはまる、御家人の権利や義務などの武士の慣習や裁判の基準についてまとめた法律を何というか。 []

年代	できごと
935	[A] が関東で乱を起こす
939	[B] が瀬戸内で乱を起こす
1086	白河上皇の [C] が始まる ↑ D ↓
1192	a 源頼朝が b 征夷大将軍になる
1219	c 北条氏が政治の実権をにぎる
1221	[E] が d 承久の乱を起こす
1232	[F] が制定される

資料1



資料2 承久の乱とその後の動き



2 《鎌倉時代の産業と文化》 次の問いに答えなさい。

(5点×10)

(1) 鎌倉時代の社会や産業について、誤っているものを、次から1つ選びなさい。 []

- ア 武士は、日ごろから武芸にはげみ、名誉を重んじ恥をきらう心構えを大切にした。
- イ 武士の領地は、代々男子に単独相続され、女子に領地が与えられたことはなかった。
- ウ 寺社の門前や交通の要地では、月に3度の定期市が開かれていた。
- エ 牛や馬を使って耕作し、草木の灰を肥料にするようになった。

(2) 資料1は、紀伊国の荘園の農民が領主にあてて書いた手紙である。資料1を読み取って述べた文として誤っているものを、次から1つ選びなさい。 []

- ア 農民は荘園領主と地頭の両方から命令を受けていた。
- イ 地頭は農民を人夫として使っていた。
- ウ 農民は労役の代わりに材木を納めていた。

資料1
阿氏河莊上村の百姓たちがつつしんで申し上げます。……
一 (領主に納める) 材木のことで、地頭が上京するとか、あるいは近所の労役だとかいっては、このように人夫として地頭の所でこき使われるので、ひまが無いのです。残りわずかな人を、材木を山から運ぶために送ると、地頭は「にげた百姓の畑に麦をまけ」といって、追いもどしてしまいます。…… (部分要約)

(3) 資料2の作品名と、それを語り広めた人々の名称の組み合わせを、次から1つ選びなさい。 []

- ア 「平家物語」－琵琶法師 イ 「平家物語」－僧兵
- ウ 「徒然草」－琵琶法師 エ 「徒然草」－僧兵

資料2 冒頭部分

祇園精舎の鐘の声、
諸行無常の響きあり。
娑羅双樹の花の色、
盛者必衰のこころをあらわす。
おごれる人も久しからず、
ただ春の夜の夢のごとし。
たけき者も遂にはほろびぬ、
ひとえに風の前の塵に同じ。

(4) 13世紀に作られた藤原定家や西行らの歌が収められている歌集を、次から1つ選びなさい。 []

- ア 古今和歌集 イ 新古今和歌集 ウ 万葉集

(5) 鎌倉時代に再建された東大寺南大門の左右に置かれた、運慶らによる力強い彫刻作品を何というか。 []

(6) 鎌倉時代の仏教に関する次の表を見て、あとの問いに答えなさい。

宗派	開祖	主な信者	特徴
A	法然	貴族、武士、民衆	「南無阿弥陀仏」と念仏を唱える。
浄土真宗	B	民衆、地方の武士	阿弥陀如来を信じて念仏を唱える。
C	一遍	民衆、地方の武士	踊念仏を行う。
D 宗 (法華宗)	D	関東の武士、商工業者	「南無妙法蓮華経」と題目を唱える。
臨済宗	E	貴族、幕府の有力者	G
曹洞宗	F	北陸を中心とする地方の武士	

① A, C にあてはまる宗派を、それぞれ答えなさい。

A [] C []

② B にあてはまる人物を答えなさい。

[]

③ D ~ F にあてはまる人物の組み合わせを、次から選びなさい。

[]

- ア D-道元 E-日蓮 F-栄西 イ D-道元 E-栄西 F-日蓮
- ウ D-栄西 E-日蓮 F-道元 エ D-栄西 E-道元 F-日蓮
- オ D-日蓮 E-道元 F-栄西 カ D-日蓮 E-栄西 F-道元



④ G にあてはまる、これらの宗派の特徴を、簡単に答えなさい。

[]

9 ユーラシアの動きと武士の政治の展開①

1 モンゴル帝国とユーラシア世界

1 遊牧民の生活 アジア大陸の内陸の草原では、遊牧民が多くの部族に分かれて、水や草を求めて家畜とともに移動生活を送る。乗馬や弓がうまく、高い移動力と軍力で中国の農耕地帯をしばしばおびやかす。

2 モンゴル帝国の拡大 ⇒

(1) **モンゴル帝国**の成立 13世紀初め、**チンギス・ハン**が遊牧民を統一し、モンゴル帝国を建国する。西アジアや東ヨーロッパに領土を広げ、大帝国になる。

(2) **元**の成立 第5代皇帝**フビライ・ハン**は13世紀後半、都を大都(北京)に移し、国名を元と改める。高麗を従え、宋をほろぼす。

3 ユーラシア世界の形成

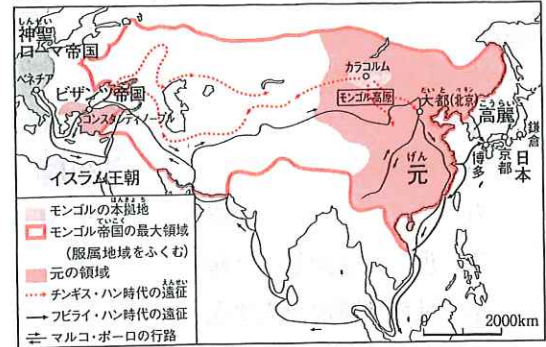
モンゴル帝国は世界各地と広く交流する。

(1) 西方世界 陸上・海上の交通路が整えられる。元からヨーロッパに陶磁器や火薬が伝えられ、キリスト教の宣教師や、ムスリム(イスラム教徒)の商人が元に来る。

(2) 高麗 中国の技術で、綿の栽培や金属の活字印刷が始まる。

(3) 日本 日本と元の間で、**禅宗**の僧が行き来する。イタリアの商人の**マルコ・ポーロ**が書物の中で日本を黄金の国として紹介する。⇒

1 モンゴル帝国の拡大



2 マルコ・ポーロが記した日本

ジパングは東方の島で、大洋の中にある。…島では金が見つかるので、かれらは限りなく金を所有している。しかし、大陸からかなりはなれているので、この島に向かう商人はほとんどおらず、そのため法外な量の金であふれている。
(「東方見聞録」月村辰雄ほか訳)

マルコ・ポーロの著作は「世界の記述」というが、日本では東方見聞録として知られている。

2 モンゴルの襲来

1 二度の襲来 フビライ・ハンが、高麗を従え、さらに日本も従えようと使者を送る。執権の**北条時宗**はこれを無視し、元軍が二度にわたって攻めてくる(**元寇**)。

(1) **文永の役**(1274年) 元・高麗連合軍が対馬・壹岐をおそい、博多湾岸に上陸。集団戦法や火薬を使った武器で、御家人と戦う。内部の対立で退く。⇒

(2) **弘安の役**(1281年) 元が宋をほろぼし、再び日本に攻めてくる。石の防壁や御家人の活躍で上陸できず、暴風雨で退く。

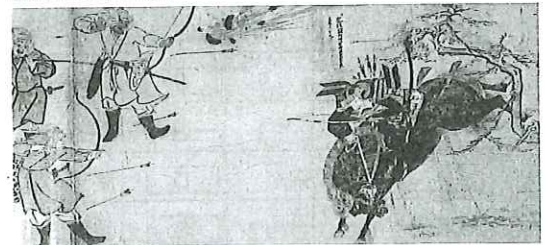
2 鎌倉幕府の滅亡

(1) 御家人の困窮 御家人は、領地の分割相続で生活が苦しくなり、土地を手放す者も現れる。幕府は**徳政令**を出して、領地を取りもどさせたが、あまり効果はなかった。⇒

(2) 幕府支配のゆるみ 港や町を支配して富をたくわえる武士が現れる。近畿地方には、**荘園領主**や幕府に従わず年貢をうばう**悪党**が現れる。

(3) 幕府の滅亡 **後醍醐天皇**は、新興武士の**楠木正成**や、有力御家人の**足利尊氏**・**新田義貞**の協力を得て、1333年、鎌倉幕府をほろぼす。
―六波羅探題を攻めた

3 元軍との戦い



御家人が一騎打ちで戦うのに対し、元軍は集団戦法を用い、火薬を使った武器で戦った。

4 永仁の徳政令(1297年)

領地の質入れや売買は、御家人の生活が苦しくなるもとなので、今後は禁止する。
…御家人以外の武士や庶民が御家人から買った土地については、売買後の年数に関わりなく、返さなければならない。

▶ 確認問題 次の問いに答えなさい。

20問

- 1** (1) アジア大陸の草原で、草や水を求めて家畜とともに移動しながら生活している人々を何というか。 (1) _____
- (2) 13世紀の初めに、モンゴル高原の遊牧民を統一し、①初代のハン (2) ① _____
- (皇帝)になったのはだれか。②そのとき建てられた国を何というか。 (2) ② _____
- (3) モンゴル帝国の第5代皇帝はだれか。 (3) _____
- (4) フビライ・ハンは、モンゴルから中国にかけての地域の国名を、中国風に何と改めたか。 (4) _____
- (5) フビライ・ハンが従えた国のうち、①朝鮮半島を治めていた国、 (5) ① _____
- ②中国南部を治めていた国を何というか。 (2) ② _____
- (6) モンゴル帝国は東ヨーロッパから朝鮮半島までを支配下に入れ、 (6) _____
- 広く交流したため、世界が1つになった。にあてはまる大陸名を答えなさい。
- (7) 元には、中央アジアで活躍していたムスリムの商人も訪れた。ム (7) _____
- スリムとは何という宗教の信者を示すか。
- (8) 「世界の記述」(東方見聞録)の中で、日本を「黄金の国ジパング」 (8) _____
- としてヨーロッパに紹介したのはだれか。
- 2** (9) 日本を従わせようとするフビライ・ハンの使者を無視した鎌倉幕 (9) _____
- 府の執権はだれか。
- (10) モンゴルの大軍が二度にわたって日本に攻めてきたできごとを何 (10) _____
- というか。
- (11) 1274年、モンゴル軍が対馬・壹岐をおそった後、九州北部の博多 (11) _____
- 湾岸に攻めてきたできごとを何というか。
- (12) モンゴル軍が使った「てつほう」とは、何を使った武器か。 (12) _____
- (13) 1281年、モンゴル軍が再度攻めてきたが、上陸できず、退いたで (13) _____
- きごとを何というか。
- (14) 御家人の生活が苦しくなったのは、領地をどのような方法で相続 (14) _____
- していたからか。
- (15) 幕府が出した、御家人が手放した土地をただでとりもどさせよう (15) _____
- とする命令を何というか。
- (16) 近畿地方を中心に現れ、荘園領主や幕府に従わず、年貢をうばう (16) _____
- ようになった新興の武士を何というか。
- (17) 1333年、鎌倉幕府をほろぼし、政治の実権を朝廷に取りもどした (17) _____
- のはだれか。
- (18) 六波羅探題を攻め、倒幕に協力した御家人はだれか。 (18) _____

p.46~47

- 1 (1) ウ (2) 院政 (3) ウ→ア→イ
 (4) ①カ ②イ
 (5) (例) 御家人が戦いに参加すること。／御家人が京都や鎌倉の警備をすること。
 (6) 執権 (7) 後鳥羽上皇
 (8) ①エ ②エ
 (9) 御成敗式目 [貞永式目]
- 2 (1) イ (2) ウ (3) ア (4) イ
 (5) 金剛力士像
 (6) ①A浄土宗 C時宗 ②親鸞 ③カ
 ④ (例) 座禅によって、自らの力でさとりを開く。

解説

- 1 (1) 源義家は東北地方の反乱をしずめた。藤原鎌足は大化の改新で活躍した中臣鎌足のこと。
 (2) 白河天皇は上皇となってからも院で政治を行った。
 (3) 1156年、京都で保元の乱が起り、平清盛・源義朝が味方した側が勝利した。1159年、平治の乱で平清盛と源義朝が戦い、清盛が勝った。平氏が政権をにぎったが、ほかの武士の不満が高まり、源氏が挙兵して、1185年、源義経が平氏をほろぼした。
 (6) 源氏の将軍が3代で絶えた後、京都から形ばかりの将軍を迎えて、北条氏が執権政治を行った。
 (7) 敗れた後鳥羽上皇は、隠岐(島根県)に流された。
 (8) ①承久の乱の前、幕府の勢力範囲は東日本が中心であったが、乱後は、西日本にも多く幕府の任命した地頭が置かれ、支配が広がった。
 (9) 御成敗式目は、執権北条泰時が定めた裁判の基準となる法律で、長く武家法の手本とされた。
- 2 (1) イ女子にも相続権があり、女性の地頭もいた。
 (2) ウ荘園領主に材木を納め、地頭に労役を課せられている。
 (3) 「徒然草」は、兼好法師が書いた随筆。
 (4) アは平安時代、ウは奈良時代の歌集。
 (5) 阿形と畔形の二体が門の左右に収められている。
 (6) ④禅宗の考えは武士の気質に合い、禅宗は幕府の保護を受けた。鎌倉にある建長寺や円覚寺は、禅宗の寺である。

p.49

▶ 確認問題

- (1) 遊牧民
 (2) ①チンギス・ハン ②モンゴル帝国
 (3) フビライ・ハン (4) 元
 (5) ①高麗 ②宋 (6) ユーラシア
 (7) イスラム教 (8) マルコ・ポーロ
 (9) 北条時宗 (10) 元寇
 (11) 文永の役 (12) 火薬
 (13) 弘安の役 (14) 分割相続
 (15) 徳政令 [永仁の徳政令]
 (16) 悪党 (17) 後醍醐天皇
 (18) 足利尊氏

解説

- (2)・(3) 「ハン」はモンゴル民族の皇帝の位。フビライ・ハンは、チンギス・ハンの孫にあたる。
 (4) モンゴル帝国は、チンギス・ハンの死後、いくつかの国に分かれた。フビライ・ハンは中国あたりの領土を受けついだ。
 (5) ①高麗は新羅をほろぼして936年朝鮮半島を支配した。元の滅亡後も1392年まで続いた。
 ②元が建てられる前、中国北部にあった宋は都を南部に移して南宋と呼ばれるようになった。それに対し、都を移す前の宋は北宋とも呼ばれる。
 (7) イスラム教はアラビア半島で生まれ、北アフリカから中央アジアにまで広まっていた。
 (8) マルコ・ポーロはイタリアのベネチアという都市の商人で、元に来てフビライに仕えた。帰国後、別の都市との戦争で捕虜になり、獄中で語った内容をまとめたのが「世界の記述」である。
 (9) 北条時宗は第8代執権である。
 (11) 1274年は元号でいうと文永11年にあたる。
 (12) 火薬をつめた丸い球は「てつほう」と呼ばれたが、鉄砲とは異なるものである。
 (13) 1281年は元号でいうと弘安4年にあたる。
 (15) 徳政令はその後もたびたび出されたことから、1274年に出された徳政令を特に「永仁の徳政令」と呼ぶ。